



## 2020 年の誕生日を祝う

### バーバ・ムクターナンダの物語

#### 恩恵を受ける力:グルのダルシャンを通しての目覚め

1978 年、バーバが 3 回目の世界ツアーでオーストラリアのメルボルンにいる時、私はセーヴァーをささげていました。この出来事はシャクティパート・インテンシヴの二日目の終わりにありました。バーバは夕方になり自分の部屋に戻ったばかりで、私は近くで幾つかの仕事を終えようとしていました。その時、私は外のドアでノックする音を聞きました。それに応えようとドアを開くと、そこにはやや小柄でとても感じの良いカトリックの修道女が立っていました。

「スワミ・ムクターナンダはここにいらっしゃいますか？」と、彼女は尋ねました。私が、バーバは夜になったので部屋に入られたことを説明すると、その修道女はとてもがっかりしたようでした。彼女は、「どうかお願いします。私は修道院から 70 マイル(約 113 キロメートル)も運転してきました。彼にお会いせずに戻りたくはないのです」と言いました。私はバーバの付き人を探しに行き、彼にその話を伝えました。

数分後、バーバは姿を現し、彼の椅子に座ると、その修道女に近くに来るよう合図をしました。すると彼女は彼の足元にひざまずき、突然泣きだしました。彼女はバーバに、テレビのニュースで彼を見た時、自然に瞑想に入ったのだと話しました。それからというもの、彼女は少女の時に学んだ聖書からの真理を直接体験し始めました——そこで語られていることの本質をついに理解したのです。

大きな慈愛を込めて、バーバは彼女の涙を拭きました。「バフトゥ・アッチャ！」と、彼は言いました。「素晴らしい！」それからバーバは私に、彼の本『クンダリーニ：生命の秘密』を彼女に渡すよう頼み、彼女が帰途につく前に、温かい食事を出すよう言いました。



© 2020 SYDA Foundation®. 著作権所有。